

講義名	経営情報システム論(経済学部)			授業形態	
担当教員	寺口 敏生	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	INF364
主題と概要					
経営の内外で発生する関連情報を効率的かつ適切に収集・伝達・貯蔵・利用できるように構築したシステムを経営情報システムという。これらのシステムは、情報処理技術の高度化と情報通信技術の普及に伴い、意思決定の高速化や経営資源の最適運用等の場面で活用されている。本講義では、経営情報システムの構造と機能を紹介し、身近な例を引用しながら、情報社会における企業経営活動を理解することを目指す。					
到達目標					
経営情報システムの概要を理解し説明できるようになると同時に、経営情報システムの観点で企業経営の課題を発見できるようになる。					
提出課題					
講義中に、respon等の機能を通じて講義内容に関するレポート課題を出題する（各講義内に提出）。また、講義の区切りに、指定した締切までに提出する取りまとめレポート課題を出題する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
講義中の解説をもってレポート課題のフィードバックとする。					
評価の基準					
期末試験は実施せず、講義中に出題する2種類のレポート課題（講義内レポートと取りまとめレポート）にて評価する。レポートの内容は主に3段階評価を想定し、取りまとめレポート課題のみ期限を過ぎても提出を受け付ける（ただし満点にならない点に留意されたい）。					
履修にあたっての注意・助言他					
2回目以降の講義資料は、講義開始前にWeb経由で提供する。レポート課題は、事情の説明があれば期日後も受け取るが、配点が少なくなる点には留意されたい。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.講義内にて都度提示する。					

その他	
授業計画	
第01回 ガイダンス 復習：講義内にて紹介したキーワードを基に情報検索を実施し、基礎的な知識の獲得に取り組む。（240分）	
第02回 経営情報システムの概要 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第03回 情報処理と経営情報システムの変遷 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第04回 情報システムと意思決定 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第05回 組織コミュニケーション 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第06回 経営情報システムの設計と開発 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第07回 情報システムにおける倫理的・社会的問題 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第08回 情報通信インフラと新しい技術 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第09回 データベースと情報管理 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第10回 Digital Transformation (DX) 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第11回 ネットビジネスと情報分析 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第12回 講義の振り返り 復習：これまでの講義内容を振り返り、獲得した知識を整理する。また、身近なシステムの具体的な成り立ちを検索して取りまとめる（240分）	
第13回 企業活動と情報システム 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第14回 企業活動とAI 復習：講義内にて紹介したキーワードや事例を基に情報検索を実施し、講義内容の振り返りに取り組む。（240分）	
第15回 情報システム開発の流れ 復習：これまでの講義内容を振り返り、獲得した知識を整理したうえで、就活を想定し、就職希望の企業を経営情報システムの観点から再評価する。（240分）	
注：受講者の進捗度合いにより、授業計画の見直しを伴う場合がある。 詳細は初回授業時に説明する。 なお、講義中で紹介する内容は、あくまで自己学習の導入である点に注意すること。	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
「経営と情報処理に関する専門的知識を身に付け、経済にまつわる情報を分析する能力の獲得」と「諸問題を幅広い観点から考察し、課題を発見できる能力の獲得」を達成するための科目である。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
講義に関する質問は、講義時間外でも随時受け付ける。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり。具体的な事例を基に講義する。	
備考	